

2023 年度事業報告

2023 年度の諸事業は、2023 年 3 月の理事会で承認された事業計画を順次実施した。

■ 4 つの事業について以下にまとめる。

1)【芸術活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条1の事業)

2023 年度の芸術活動助成事業は、2023 年1月 31 日および 2 月 7 日に選考委員会を開き、助成対象を決めた。応募は 292 件(音楽 177 件、美術 115 件)あり、前年度の 381 件から 89 件減少した(前年度比音楽▲27 件、美術▲62 件)。前年度からの延期事業を加え、138 件(音楽 85 件、美術 53 件)に対して 1770 万円の助成を決定した。新型コロナウイルス感染症を理由とした中止案件はなかったが、音楽分野では黒字による返上 1 件 20 万円、実施不能 2 件 10 万円、美術分野では黒字による辞退 1 件 10 万円、実施不能 2 件 20 万円が生じた。結果、132 件に 1710 万円を助成し、残金 60 万円は 2023 コロナ感染症対策積立金に計上し、2024 年度の助成費用に充てる。

2)【文化財保護助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 2 の事業)

2022 年 9 月 10 日に開かれた選考委員会で、2023 年度助成実施対象事業として応募があった 40 件(継続中の複数年事業を含む)の中から、新潟・普光寺の南魚沼市指定有形文化財「毘沙門堂楼門」天井画・釈迦と十六羅漢壁画などの保存・修復など 33 件に対して総額 5596 万円の助成を決定し、助成した。

3)【朝日賞の贈呈】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 3 の事業)

2023 年度の朝日賞は、下記の 4 氏に贈呈された。

◇戒能 民江(かいのう・たみえ 79 歳) 法学者

「女性の人権を守る法整備への長年にわたる貢献」

◇島菌 進(しまぞの・すすむ 75 歳) 宗教学者

「新宗教、国家と宗教、グリーンケア研究への貢献」

◇倉谷 滋(くらたに・しげる 65 歳) 理化学研究所主任研究員

「脊椎動物の体の形づくりと進化プロセスの研究」

◇宮坂 力(みやさか・つとむ 70 歳) 桐蔭横浜大学特任教授

「ペロブスカイト太陽電池の開発」

受賞者の業績と横顔は 2024 年 1 月 1 日の朝日新聞に掲載された。

1 月 26 日に帝国ホテルにて、贈呈式、祝賀パーティーを開催し、4 氏に正賞のブロンズ像(彫刻家で 1988 年度朝日賞受賞者の佐藤忠良氏の作品「陽」と副賞 500 万円(1件につき)贈り、朝日新聞デジタルを通じてオンラインで受賞の喜びが伝えた。

4)【大阪国際フェスティバル】(公益財団法人朝日新聞文化財団 定款第 4 条 4 の事業)

毎年、大阪・中之島のフェスティバルホールで開催している「大阪国際フェスティバル」は、予定していた 3 公演と提携 1 公演を以下の通り実施した。

・4 月 15 日「4 オケの 4 大シンフォニー 2023」

・4 月 16 日〈提携公演〉東京都交響楽団 大阪特別公演

・5 月 13 日東大寺開山良弁僧正 1250 年御遠忌記念 特別公演「東大寺 修二会声明」

・9 月 2 日オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ特別演奏会「カルミナ・ブラーナ」

事業支出 7456 万円(22 年度 6012 万円)に対し、チケット販売や協賛金の収入は 7499 万円(同 6604 万円)で、43 万円の黒字(同 591 万円)。前年度に続き、事業黒字となった。

招聘リスクの高い来日公演は盛り込まず、国内もの 4 公演を実施し、オオサカ・シオン以外は黒字を達成した。定番となった 4 オケ、東大寺特別公演特別公演「東大寺 修二会声明」の人氣を博した。配賦間接費を含む経常費用全体は 9891 万円で、経常増減は 2391 万円の赤字。

■ 定型事項について以下にまとめる。

① 経営環境や事業内容の変化の有無

財団の設立母体である新聞社からの寄付金は、財団運営の基礎だが、23 年度は 5300 万円にとどまった。21～22 年度は 6300 万円で減少傾向が続く。それ以前は 20 年度 7800 万円、19 年度 8000 万円、18 年度 8200 万円と概ね安定していたが、新聞社の経営不振の影響を受け、近年減額要請が強まって、事業維持には圧倒的に不足している。ここ数年はたまたま、保有するテレビ朝日株式の配当金が上振れしたことや、経費節減努力、助成規模の縮小などで凌いできたが、持続的な事業実施の基盤は不安定化している。

抜本的な支出削減を行い、持続可能な執行体制を維持するため、歴史的に各事業の展開に深くかかわり、寄付金を拠出している新聞社と今後の事業の在り方について協議を継続している。

② 訴訟案件、偶発債務等は特になし。

③ 法令遵守や不正リスク等については特になし。

④ ゴーイングコンサーン(事業継続性)について

*①にも関わるが、基本財産 10 億円が超低金利下でほとんど果実を生まない事態が長期化している。このため、安全性を第一義として元本保証の定期預金のみ限定していた資産運用について、経理規則を改定して資金運用規定を新設し、21 年度から金銭信託、公社債、株式、投資信託等による運用を可能にした。21 年度にまず名古屋高速道路債券(愛知県・名古屋市折半の市場公募債・額面1億円)、続いて 22 年度にゆうちょ銀行の株式売り出しで 8 万株(購入時 9048 万円、23 年度末時価で 1 億 3008 万円)を購入し、420 万円程度の運用益を確保した。23 年度には東日本旅客鉄道社債(額面 1 億円)を購入し、24 年度は 100 万円程度さらに運用益を上乗せする見通し。今後、基本財産の半分(5 億円)まで運用を拡大し、数年内に運用益 1000 万円程度をめざしたい。

*文化財保護助成の原資となるテレビ朝日HD株式の 2023 年度の配当予想は、インターネット事業や各種取組みが進捗していることなどから年 60 円となる予定で、配当収入は計 1 億 3178 万円の見込み(10 円期末増配予定を 3 月 7 日に発表)。21、22 年度は 50 円(総額 1 億 1485 円)、19、20 年度は 40 円(総額 9188 万円)だった。ただ、2 月に策定した当財団 24 年度予算では、今後景気減速も予想される経済情勢の変化に左右されないよう、期末配当予想のうち 20 円、4594 万円のみ計上している。

⑤ 後発事象の有無については特になし。

⑥ 重要な通例にない取引の有無については特になし。

■ 管理運営関係等について以下にまとめる。

◇ 諸会議の開催

① 第 1 回理事会(2023 年 5 月 9 日) ※決算関連・書面

② 第 2 回理事会(2023 年 6 月 2 日) ※報告事項

- ③ 定時評議員会(2023年6月2日) ※決算関連
- ④ 第3回理事会(2023年6月2日) ※人事関連
- ⑤ 第4回理事会(2023年6月22日) ※株主議決権関連・書面
- ⑥ 第5回理事会(2023年7月15日) ※人事関連・書面
- ⑦ 第6回理事会(2023年9月15日) ※朝日賞選考委員関連
- ⑧ 第7回理事会(2023年3月3日) ※事業計画・予算関連
- ⑨ 2023年度・文化財保護助成選考委員会(2023年9月9日)
- ⑩ 2023年度・朝日賞選考委員会(2023年10月16日～12月4日)
- ⑪ 2023年度・芸術活動助成選考委員会(2024年2月1日、2月7日)

◇諸会議の結果

- ① 第1回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2023年5月9日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「事業報告、収支決算、事務局長人事異動案」について承認した。
- ② 第2回理事会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2023年6月2日
 - *報告事項:「理事長、常務理事の職務状況報告」についての報告が了承された。
- ③ 定時評議員会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *決議方式:定款第25条に基づく書面決議で評議員全員が賛成
 - *決議事項:「事業報告、収支決算、評議員7の選任、理事7名の選任、監事2名の選任、議事録署名人の選任」について全員一致で承認した
- ④ 第3回理事会
 - *開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2023年6月2日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「代表理事(理事長)の互選、業務執行理事(常務理事)の互選、60歳定年後の再雇用規定案、事務局長人事異動案(23年7月1日付)」について承認した。
- ⑤ 第4回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2023年6月22日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「朝日新聞株主総会にかかるすべての議案への賛成とテレビ朝日ホールディングス株主総会にかかるすべての議案への賛成」について承認した。
- ⑥ 第5回理事会
 - *開催方法:書面表決
 - *理事会の決議があったものとみなされた日:2023年7月15日
 - *決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意
 - *決議事項:「事務局長人事異動案(23年9月1日付)」について承認した。

⑦ 第6回理事会

*開催方法:開催方法:書面表決

*理事会の決議があったものとみなされた日:2023年9月15日

*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

*決議事項:「朝日賞選考委員選任案」について承認した。

⑧ 第7回理事会

*開催方法:朝日新聞東京本社レセプションルームに於ける会議

*理事会の決議があったものとみなされた日:2024年3月1日

*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

*決議事項:「24年度事業計画、収支予算、特別費用準備資金積立計画、資金運用計画、24年度定時評議員会招集、理事長・常務理事の職務状況報告、24年度第1回理事会の書面決議、第2回理事会の開催」について承認した。

⑨ 2023年度・文化財保護助成選考委員会

*日時:2023年9月9日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:選考委員7名中7人(有賀祥隆、武田佐知子、根立研介、広瀬和雄、本田光子、高妻洋成、中村俊介)

*選考結果:2024年度実施の対象事業として応募があった37件の中から継続複数年事業を含め、国宝「絹本着色十六羅漢像保存修理事業」(京都府・清涼寺)など31件に計5030万円の助成を決定した。

⑩ 2023年度・朝日賞選考委員会

*日時:2023年12月4日

*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社本館15階

*出席者:選考委員9名(青柳正規、伊東豊雄、稲葉カヨ、梶田隆章、榊裕之、野田秀樹、上野千鶴子、角田克、中村史郎)

⑪ 2023年度・芸術活動助成選考委員会

A) 音楽分野

*日時:2024年2月7日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:沼尻竜典、白石美雪、丸山玄則(以下、書面出席)、

酒井忠康、建島哲、大西若人、以上6名(選考委員総数6名)

*選考結果:2024年度実施の対象事業として応募があった177件の中から、「オオサカ・シオン・ウインドオーケストラ第154回定期演奏会」(大阪市音楽団)など83件に総額960万円の助成を決めた。

B) 美術分野

*日時:2024年2月1日

*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団会議室

*出席者:酒井忠康、建島哲、大西若人、(以下、書面出席)、

沼尻竜典、白石美雪、丸山玄則、以上6名(選考委員総数6名)

*選考結果:2024年度実施の対象事業として応募115件の中から、「滋賀の家展」(滋賀県立美術館)など42件に総額600万円の助成を決めた。

以上